

「治療と仕事の両立支援研修会」が開催されました

平成31年1月10日、岡山市中区西川原にありますおかやま西川原プラザで、岡山労働局、岡山産業保健総合支援センターの共催で、「治療と仕事の両立支援研修会」が開催されました。

研修会では、千葉登志雄岡山労働局長の挨拶の後、講演が行われました。

まず、岡山労働局北村牧子健康安全課長が「両立支援制度について」と題し、国の施策としての両立支援の位置づけや岡山労働局における両立支援への取組みについて講演されました。

次いで、当センターの成川彰浩両立支援促進員が「両立支援の進め方と課題



について」と題し、両立支援の問題点と進め方及び産業保健総合支援センターの活用について講演されました。

続いて、岡山大学病院消化器内科講師の池田房雄氏が「肝臓病治療と仕事の両立に必要な支援とは」と題し、C型肝炎は、治療によりウイルスを消すことが

でき、早期に治療すれば、仕事との両立も容易であることなどを講演されました。

休憩をはさみ、岡山県医療ソーシャルワーカー協会の石橋京子会長が、両立支援に関する診療報酬や両立支援に関する留意点などを講演されました。

次いで、岡山労災病院腹部外科部長の石崎雅浩氏が「がん患者さんに対する両立支援について」と題し、岡山労災病院における両立支援の取組について、



事例を交えて講演されました。

最後に、おかやま若年性認知症支援センターの若年性認知症支援コーディネーターの安藤光徳氏が、若年性認知症と同支援センターの事業内容について説明されました。

この研修会には、医療関係者や一般企業の労務管理担当者など70名が参加されました。

